



OB会は解散しJRセントラル労組を支持する団体に！ 会員無視の独裁的運営を強行するOB会

JR東海労がJR総連脱退を決めた第42回臨時大会以降、OB会の反動的動向が続いています。本部OB会幹事会が12月23日開催され、福島会長が提案した「JR東海労本部OB会は解散」を多数で決めたことが明らかになりました。そのために、まずは1月23日に第23回臨時総会を開催し、「総会は委員会方式で運営する」

「委員は人員50名につき1名（端数は繰り上げて1名とする）の割合とする」などの規約改正を行った後、続いて第24回臨時総会を開催し、本部OB会の解散を決めるというものです。そして解散後は、各地方OB会で好き勝手にやるというのです。

OB会は、JR東海労の運動を支持する親睦団体です。JR東海労の方針が気に入らないとして、勝手に解散をするべきではありません。OB会員の多くは、JR東海労の運動を支持しています。一部OB役員による引き回しは、OB会員への愚弄であり、断じて許されない行為です。本部OB会役員が言うように、OB会の入退会は自由なので、現職と共に進むのが嫌ならOB会を退会すれば良いだけの話です。何も、現職の運動を批判し、妨害する必要はないのです。

新幹線地本OB会は、更に反動的です。『OB会だより』No.170などによると、1月28日緊急に「臨時総会」を開催し、会則を改正し「JR東海新幹線OB会」という名称にし、JRセントラル労働組合（セン労）を支持・支援する団体として新たに出発するというものです。解散せずに、会そのものをそっくり変えるという、まさに独裁者が行う行為です。JR東海労の名前が嫌なら、OB会を辞めるべきです。

新幹線地本OB会はこの間、怪文書と一緒にJR東海労を批判した誹謗・中傷文書を拡散し、「森下（現セン労委員長）を支える」の合い言葉で組織化をしてきました。組織破壊の最先端に立ってきたのです。また、各地本でも水面下で学習会なるものを組織化し、セン労の支持者を集めようとしています。

JR東海労は、真面目なOBと連携し、反動的OB会員らを許さない闘いを展開します。